

地域ごとのまちづくり計画推進シート

提出日：令和4年（2022年）4月6日

（市民協働推進課経由）

協働の取組推進担当次長 宛

まちづくり協議会名称： 宝塚市高司小学校区まちづくり協議会

代表者氏名： 川島 昭

1 地域ごとのまちづくり計画の該当箇所（計画に記載している内容を転記してください）

【基本目標】

5.非常時に助け合えるまちづくり（防災）

【具体的な取り組み】

（2）災害への備えの強化

イ 住民に対する啓発活動

※ 地域ごとのまちづくり計画書の10ページに記載

2 この取組の連絡窓口（氏名、所属（部会名）、連絡先）

（1）氏名

●

（2）役職・所属する部会名等

●

（3）連絡先（電話番号、メールアドレス）

●

※ 次ページに続く

3 「具体的な取り組み」について

目的・課題、内容についてご記載ください。

【目的・課題（どのような地域課題があるか）】

【記載例】

・●●地域には「■■～～～■■」という地域課題がある。地域ごとのまちづくり計画に記載している「▲▲～～～▲▲」を実現することで、▼▼が推進され、地域課題の解決につながると考えている。

当校区の防災訓練は、年1度（11月）に実施しているが、若年層の参加が少なく、当校区の災害危険度も全く認識していると思えず地域の防災力の低下の原因であると思われる。

校区の防災力UPの為、高司小学校の児童・中学校の生徒及び教職員に対し、定期的な防災訓練講習を地域が行い、防災力の向上を目指す。

【内容（何をするのか、いつするのか等）】

【記載例】

・「計画の内容を実現するため、●年●月頃までに■■を実施したい。」

・「計画内容の実現に向けて、まずは行政の関係課と協議を実施したい。」等

※ 既に取り組んでいる事業の場合は「これまでの取り組み」や「これまで対話を進めてきた関係課及び対話の状況」等もご記入ください

計画にもある防災に関する住民への啓発を行うため、高司小学校の児童・高司中学校の生徒及び教職員に対し、校区のハザードマップや避難方法などの講習の実施と地域内で実施している講習・訓練への参加促進のための案内を行いたい。併せて、学校と地域の防災組織との連携を教育委員会にも認知願ひ、マニュアル化を図りたい。

現在、児童・生徒・教職員に対してどのような防災講習・訓練が行われているかを確認したいのと、以下の3点の実施についての協議を小学校・中学校や市の教育委員会としたい。

(1) 地域による高司小・高司中（児童・生徒・職員）への定期的な講習

- ・防災講習及び訓練

回数：年1回程度

対象：高司小の児童・教職員、高司中の生徒・教職員

講師：高司小学校まちづくり協議会（防災部）・消防

講習実施したい内容：

- ① 児童・生徒の登校時と帰宅時に災害が起きた場合の対応について
- ② 災害時の支援組織について
- ③ 中学校の教員、生徒に対しては地域の独自のハザードマップを主体に危険度の確認と避難方法の習得と救命講習を消防と合同で行う

上記の講習を毎年1回、定期的実施する事により受講生徒が卒業するまでに、

緊急時に対応出来る防災能力を習得し、地域の支援組織として活動出来る様指導したい。

(2) 地域内で実施している防災訓練講習等の周知

- 水防訓練 (2022年6月予定)
- 8自主防災会が実施している防災訓練

(3) 高司小・高司中の生徒への土のう作成設置などの水防訓練の実施

学校内で実施している避難訓練の際など、タイミングは問わないが、土のう作成設置等の水防訓練について、年に1度生徒に対し、実施してほしい。

具体的には、小学4年生以上を対象に浸水時の危険性を体感してもらう体験学習として、簡易プールに水深20cm~30cm程度の水を入れ歩行して、歩行の難易度と危険性について、体験してほしい。

(地域内での講習を希望する場合は、水防訓練に参加してもらいたい。)